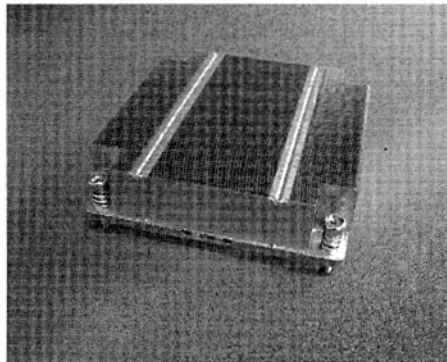


# 丸三電機がタイソル電子(台湾)と業務提携

## ヒートパイプ入りはんだ付けヒートシンク受注開始

丸三電機(東京都千代田区)はこのほど、台湾の民生機器向けヒートシンクメーカー、タイソル電子(台北市)と業務提携した。タイソル電子の高度なヒートパイプ技術や大量生産技術と、丸三電機の高度な熱解析技術や品質管理などを融合させることで、丸三電機は国内産業機器市場向けに熱拡散性に優れ、高品質か



タイソル電子と丸三電機のコラボレーションによる、ヒートパイプ入りはんだ付けヒートシンク

つ低コストの「ヒートパイプを主体とするメーカー」。丸三電機は国内産業用製品市場を主体とし、タイソル電子は海外パソコン市場および国内民生機器市場を主体とする販売形態で合意し、素子が小型化し、放熱量を

### 高品質・低コストで熱拡散

### ニーズ対応 最適設計

市場向けの。締結日は今日11日。互いの得意分野を生かし、半現在では、小さな熱源を極力、大きな面に熱移動させて放熱する技術が求められている。ペース面に民生品用として大量生産している安価なヒートパイプを埋め込むことにより大きな性能アップを実現しつつ、わずかな製品価格の上昇に抑制することができ、各段に性能が良く、安さを維持した製品を提供できる」と自



11日付で業務提携に調印した(左から丸三電機の竹村社長、タイソル電子の余清松董事長、商流・物流を担当するオリエンタルコンピュータの芦原錦吾代表取締役)

己の経営理念から導き出した。タイソル電子はその仕様書に基づき、中国・東莞工場(東莞市)の民生用製造ラインを用いて生産する。タイソル電子は台湾を技術本部とし、丸三電機の製造拠点である埼玉事業所(埼玉県毛呂山町)との技術交流も盛んに実施している。竹村社長は、同製品により「発熱量が上昇する放熱

出されたポリシーを語る。業務提携に関するヒートシンクは「ヒートパイプ入りはんだ付けヒートシンク丸三電機DHP・DHSシリーズ」として販売開始する。同ヒートシンクはカスタムメイド品。丸三電機は顧客のニーズに合わせて熱解析を実施し、設計仕様図面を作成する。長年培ってきた国内産業用ヒートシンクの熱解析技術・設計技術・品質管理技術などのノウハウの活用により、最適設計を行う。

業界に新しい波を起した」と意気込む。熱対策技術展で紹介同社は7月に開催されるテクノフロンティア2012(東京ビッグサイト)の「熱対策技術展」で今回の新製品を紹介する予定。丸三電機は1963年に部品商社として設立。85年からヒートシンクの製造販売を開始、92年には自社工場も稼働させるなど、本格的なヒートシンクメーカーへの転換を図り、「品質第一」をモットーに、ここ数年、安定した利益を計上している。